

農林水産商工常任委員会資料

(令和3年12月1日)

項 目	ページ
1 新型コロナウイルス感染症にかかる対応状況について 【商工政策課】…………	2
2 県版SDGs企業認証制度の検討状況について 【商工政策課】…………	4
3 「とっとりワークプレイス」の東部拠点の開設について 【立地戦略課】…………	6
4 第10回北東アジア産業技術フォーラムの開催結果について 【産業未来創造課】…………	7
5 とっとりバイオフィロンティア開設10周年記念式典・シンポジウムの 開催結果について 【産業未来創造課】…………	8
6 とっとり宇宙産業ネットワーク設立記念フォーラムの開催結果について 【産業未来創造課】…………	9
7 企業在職者向け共通講座に係る受講者受付完了メールからの 個人情報流失について 【産業人材課】…………	10
8 職業能力開発総合大学校との連携による取組について 【産業人材課】…………	11
9 伝統産業（民芸品、地酒、因州和紙）のオンライン展示会等の 開催について 【販路拡大・輸出促進課】…………	12

商 工 労 働 部

新型コロナウイルス感染症にかかる対応状況について

令和3年12月1日
商工政策課

新型コロナウイルス感染症による県内経済・雇用への影響を踏まえた経済対策予算の執行等、関係機関と連携しながら各種取組を進めています。

1 コロナ禍事業継続緊急応援事業（令和3年度9月補正予算）の執行状況

(1) 「コロナ禍緊急応援金」（新たな応援金）

県の第6弾応援金「コロナ禍緊急応援金」の申請受付を継続中です。広く制度周知を図りながら申請事業者への早期給付に努めています。

〔支援対象〕 県内中小企業等（個人事業主含）

- ・ 外出自粛等の影響を強く受けた事業者（飲食、宿泊・観光、交通、小売・対面サービス等）
- ・ 上記事業者との直接かつ継続取引がある事業者

〔売上要件〕 本年6～9月の間の任意の1ヵ月の売上額が、前年又は前々年対比で30%以上減

〔支給額〕 法人20万円、個人事業主10万円（いずれも上限）

〔申請期間〕 令和3年10月1日～12月10日

〔執行状況〕

※11月26日現在

申請件数 (件)	申請額 (千円)	業種別申請件数 (件)						
		飲食	卸小売	理美容	生活関連	宿泊観光	製造	その他※
4,139	521,447	1,473	855	343	244	243	195	786

(※) 「その他」業種には、学習塾などの集合型サービス業のほか、整骨・整体等の個別対面サービス業など、外出自粛に伴う影響を受けた幅広い業種が含まれている。

(2) 「コロナ禍緊急交付金」（市町村との協調支援）

県と市町村が協調しながら、地域の実情に応じた事業継続支援に取り組んでいます。

〔支援対象〕 県内市町村（間接補助であり補助率1/2）

〔対象事業〕 ①給付的支援事業 ②奨励的支援事業 ③減収補填的補助事業 等

〔支援上限〕 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（事業者支援分（令和3年8月17日政府決定分））の各市町村配分額又は50,000千円のいずれか低い額

〔申請状況〕 14市町村が活用意向を示しており、うち13市町村には交付決定済（計210,050千円）。

以下市町村では既に給付的支援事業等で事業実施中である。

市町村	交付額 (千円)	申請事業
米子市	50,000	①売上50%減事業者へ一律10万円の給付金 ※飲食、宿泊、小売、理美容等 ②売上減少したタクシー・自動車運転代行事業者への給付金（認定台数×5万円）
倉吉市	50,000	売上30%減事業者へ一律給付（法人40万、個人事業主20万円） ※飲食、宿泊観光、小売等
境港市	25,115	売上30%減事業者へ一律10万円の給付金
若桜町	4,010	売上10%以上30%未満減事業者へ一律給付（法人10万、個人事業主5万円）
八頭町	7,000	①売上20%減事業者への給付金（飲食：一律20万円、宿泊：20～200万円） ②認証店取得店舗（飲食・宿泊）に、店舗毎で一律10万円の給付金
琴浦町	16,854	売上20%減事業者へ減少率に応じ10万～30万円の給付金
北栄町	13,500	売上20%減事業者へ売上規模に応じ10万～40万円の給付金
日吉津村	5,553	売上15%減事業者へ上限10万円の給付金 ※飲食、宿泊、小売
大山町	14,389	売上30%減事業者へ売上規模に応じ20万～200万円の給付金
南部町	6,603	売上規模に応じ30万～100万円の給付金 ※飲食、貸切バス、宿泊
伯耆町	8,001	売上30%減事業者へ業種・売上規模に応じた給付金 ※飲食、宿泊、結婚式場、索道業
日南町	6,635	売上15%減事業者へ減収額補助（上限50万円）
江府町	2,390	売上減事業者へ減収額の50%給付上限：中小200万円、個人100万円 ※宿泊、飲食、旅行業

2 国への政策提言

新型コロナウイルス感染症第6波への備えと日常生活の回復に向け、11月21日、全国知事会（会長：平井鳥取県知事）により緊急提言書がとりまとめられました。併せて、11月26日、全国知事会議が開催され、コロナを乗り越える地方創生に向けた緊急提言のとりまとめが行われました。

【地域経済再生を図るための主な提言項目】

- ・新たな経済対策の早期執行
- ・地方創生臨時交付金の市町村を含む2兆円規模の増額
- ・事業復活支援金をはじめとした事業者向け給付金の迅速な支給、月次支援金の継続支給
- ・雇用調整助成金の特例措置の維持
- ・都道府県が独自に取り組む資金繰り支援対策に要する負担への支援 等



【参考：主な県経済対策予算の執行状況（11月25日現在）】

①営業時間短縮要請協力金（新型インフルエンザ等対策特別措置法第24条第9項の規程に基づく要請）

	申請状況		支給状況		申請期限
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	
第一期(米子市内)	481	202,873	481	202,873	9月30日(受付終了)
第二期(鳥取市内)	472	194,252	472	194,252	10月29日(受付終了)

※営業時間短縮要請の概要

	第一期(米子市内)	第二期(鳥取市内)
要請期間	7月21日(水)～8月3日(火) 計14日間	8月9日(月)～8月22日(日) 計14日間
対象区域	米子駅前及び米子市繁華街	鳥取市繁華街
対象店舗	食品衛生法に定める営業の許可を取得している飲食店及び喫茶店	
	500店舗	508店舗
要請内容	営業時間を5時から20時までとすること(酒類のオーダーは19時まで)	

②応援金ほか補助金

事業名	申請件数(件)	交付申請額(千円)	申請期限
コロナ禍打破特別応援金 《事業継続支援分》売上規模に応じた応援金(最大40万円)に認証店舗数に応じ10万円ずつ加算 《新規創業支援分》令和2年4月1日以降の新規創業者へ一律10万円の応援金を交付	5,625	1,826,000	9月30日(受付終了)
新型コロナウイルス感染予防対策推進事業 (感染予防に必要な経費への支援:補助率1/2、上限20万円)	401	39,267	12月15日
コロナ後を見据えた飲食店応援事業 (経営のデジタル化、新たなメニュー開発等に取り組む飲食店を支援:補助率1/2、上限10万円又は25万円)	114	17,464	令和4年1月31日
県内企業多角化・新展開応援補助金 (事業多角化等を応援する補助:補助率1/2、上限100万円)	318	274,306	令和4年1月31日

③県制度融資（新型コロナ向け地域経済変動対策資金）

- ・融資実行：約1,884億円（10,326件）
- ・申込期限：12月30日（※令和3年度11月補正で申請期限延長に係る予算を提案中）

県版SDGs企業認証制度の検討状況について

令和3年12月1日
商工政策課

現在検討を進めている県版SDGs企業認証制度について、令和4年4月からの制度本格運用に先立ち、パイロット事業「県版SDGs企業認証パイロット」に取り組む企業の公募を開始しました。今後、パイロット事業の実施結果など踏まえながら、制度創設に向けた各種検討を進めてまいります。

1 県版SDGs企業認証制度の検討状況

本年6月に「県版SDGs認証制度の創設に向けた検討会（構成員：県、商工団体、金融機関、学術機関ほか）」を立ち上げ、制度の枠組み等にかかる検討を進めています。※これまでに検討会を計3回開催

【制度の枠組み（現在の検討案）】

認証主体	鳥取県（認証適否にかかる審査は、外部有識者等第三者による審査会を別途設置）
認証対象	県内企業（営利事業を営む者）
認証内容	申請事業者は以下書類を提出し、審査会で認証適否に係る審査を実施 ①認証チェックシート（以下チェックシート項目一覧を参照） 「社会」「経済」「環境」の3側面に分類し設定された計30項目の取組内容について、自己チェックを行うとともに、自社目標を設定した上で申請 ②申請書 企業の基本情報と併せ、SDGs実現に向けた自社の重点的取組など申請
PDCA	3年に1度更新（期間満了後は更新申請が可能） 【申請時】各項目の目標を設定 【認証取得後】年1回の進捗報告を義務化
制度の特徴	①「認証支援事業者制度（仮称）」の導入 認証取得に向けた伴走支援など、小規模事業者でも取り組み易い仕組みとする。 ②チャレンジ意欲を喚起するインセンティブの導入 資金調達支援、ビジネスマッチングのサポートなど今後検討する。 ③認証制度としての品質保持 KPI設定・進捗報告によるPDCAサイクルを構築する。

↓ 以下チェックシートのイメージ（パイロット事業の申請書類にも活用）

▼ 認証チェックシート項目一覧（SDGsの3側面×各10項目＝合計30項目）

社会	経済	環境
①労働災害の防止 ②ハラスメントの防止 ③女性の活躍 ④障がい者が働きやすい職場づくり ⑤多様な人材の活躍 ⑥多様な働き方の促進 ⑦労働者への人権配慮 ⑧社会配慮型商品・サービスの提供 ⑨地産地消の推進 ⑩地域社会への貢献	①事業継続計画（BCP）の策定 ②セキュリティ対策 ③法令順守の徹底 ④情報公開 ⑤後継者の確保 ⑥コロナ後の市場変化を見据えた対応 ⑦自社以外の経営資源活用 ⑧デジタル化による生産性向上 ⑨雇用の維持・拡大 ⑩人材育成・能力開発	①気候変動リスクへの対応（自然環境） ②気候変動リスクへの対応（社会・制度） ③気候変動リスクへの対応（事業活動） ④燃料消費量の削減 ⑤電力消費量の削減 ⑥再生可能エネルギーの導入 ⑦廃棄物の削減 ⑧水資源の効率の利用 ⑨環境配慮型商品・サービスの提供 ⑩環境面での社会貢献

▼ 認証チェックシート記入内容のイメージ

側面	取組項目	取組確認	具体的な取組の例 算出のヒント	現在の取組状況	今後に向けた取組・目標
社会	1 労働災害の防止	<input type="radio"/>	例えば・・・ ○ヒヤリハットの発生件数の把握や未然防止対策の実施 ○労働災害防止のための安全対策ルール整備 ○労働災害につながる環境や行動を見直すための社員教育の定期的な実施	【主な取組内容】 ヒヤリハットの発生件数を月ごとに把握し、ヒヤリハットの原因となる設備や業務手順等について3ヶ月以内に対策を講ずることとしており、労働災害発生時の未然防止に努めている。	【主な取組内容】 社内で規定している安全対策ルールの徹底を図るため、個別の業務計画検討時にルールを確認できるツールを作成する（R5年度中）。またそれに伴う社内研修を行い、職員の活用を促す。

2 県版SDGs企業認証パイロット事業実施に向けた取組

県版SDGs企業認証制度の本格運用に先立ち、試行的な認証審査や企業の取組水準に応じた支援を行いながら、申請書類内容の練り上げを行うなど、パイロット事業に取り組む企業が円滑に正式認証へ移行できるよう支援を行います（パイロット事業に取り組む企業の公募は、11月25日に開始）。

(1) 実施期間 令和4年1月～令和4年3月

(2) 実施内容

①パイロット事業実施に向けた準備（取組企業の公募・選定）

（募集方法）公募

（選定方法）

i 公募（期間：R3.11.25～R3.12.10）

↓ 社会、経済、環境の3側面の取組状況に関するチェックシートの「自己評価」を実施し、
↓ 評価結果を県へ提出（前頁に申請書類「チェックシート」のイメージ掲載）

ii 試行審査（R3.12～R4.1上旬）

↓ 検討会委員会（県、金融機関、商工団体等）による試行審査を実施

iii 取組企業の選定（R4.1中旬）

②パイロット事業の実施（→令和3年度11月補正で以下取組に要する予算を提案中）

i 伴走支援（R4.1中旬～R4.3下旬）

認証取得に向け必要な取組課題実現、申請書類内容の練り上げに向けた支援を実施
→支援機関（金融機関、商工団体、県等）による既存メニュー支援のほか、専門家派遣を実施

（専門家による伴走支援例）

- ・環境経営専門家によるエネルギー使用量の把握支援
- ・社会保険労務士による労務管理規程の整備支援
- ・弁護士による内部統制規程の整備支援
- ・BCMS(※)専門家による事業転換・BCP(事業継続計画)策定支援

※事業継続マネジメントシステム。様々な環境の変化に対しBCPを最新で有効に維持・管理する仕組みをいう。

ii 情報発信（R4.1～R4.3）

県版SDGs企業認証制度の制度PRを兼ね、パイロット事業に取り組む企業の取組例発信など、プロモーションセミナーを開催（1月、3月を予定）

3 今後の予定

パイロット事業の実施結果など踏まえつつ、令和4年4月からの制度本格運用に向け、関係機関や事業者の意見等よくお伺いしながら、検討を進めます。

「とっとりワークプレイス」の東部拠点の開設について

令和3年12月1日
立地戦略課

国の地方創生テレワーク交付金を活用して、県外企業等が県内で事業活動を展開するためのサテライトオフィス、個人・事業者等が共同で利用可能な作業空間を提供する「とっとりワークプレイス」を、県内3カ所で民間事業者が整備を進めているところですが、この度、東部の拠点となる「ToBelmo(トベルモ)」が開設されましたので報告します。

1 「ToBelmo(トベルモ)」の概要

鳥取大学の近隣にある立地環境を活かし、大学等との産学連携や学生と企業とのコミュニティの形成、連携や起業等を生み出して地域活性化に繋げていくことができる施設として開設・運営を行う。

- (1) 整備場所 アパマンショップ鳥取大学前店横(鳥取市湖山町北。鳥取大学から徒歩5分)
- (2) 運営事業者 株式会社エステートセンター(鳥取市南吉方。不動産業)
- (3) 開設日 11月24日(水)
- (4) 施設内容 コワーキングスペース(30席)、入居者が専用利用できるスペース(約6.5㎡×5ブース)、無料Wi-fi、プロジェクター、防音席、複合機(有料)等
- (5) 利用料金
コワーキングスペース 1日利用300円(飲料付き)
入居スペース(5区画) 38,500円(税込み) / 月額

※ToBelmo(トベルモ)とは、TOTTORI+Belmoment「鳥取での素敵な時間」を表現した造語で、整備・運営事業者が命名されたもの。



施設の外観(入口)



施設の内観(ワークスペース)



入居スペース

【オープニング内覧会】(11月24日)

施設開設に合わせた内覧会が開催され、報道関係者をはじめ、大学関係者や鳥取市、鳥取県等の関係者が集まり、今後連携して活用を進めていくため、施設の機能・目的等を確認した。

2 県の支援内容 とっとりワークプレイス整備支援事業(令和3年1月補正)

県内の民間事業者が、未利用施設等を活用して入居機能を有するテレワーク可能な施設に改修する経費等を支援し、県内に3施設のワークプレイス(働く場)を整備する。

- (補助率) 2/3 (補助上限額) 30,000千円/者 × 3事業者
- (入居支援) 今年度末までに入居する県外事業者に進出支援奨励金(1,000千円)を交付する。
(3年未満の退去者は全額を返還。3年~5年未満の場合は半額を返還。)

3 今後の展開

「とっとりワークプレイス」は、今後、中部拠点を12月末、西部拠点を1月末までに順次開設する予定であり、運営事業者と連携して施設のプロモーション活動等を展開しながら、入居者誘致や活用の拡大を進めていく。

中部拠点・西部拠点の概要

事業者名	概要	整備地域
いわせ いわせじどうしゃ 岩世(有)、岩世自動車 工業(有)【共同実施】 (貸事務所業、自動車整備・販売業)	県内全域への交通アクセスの良い中部地域の利点を活かし、カーシェアの提供をはじめ利用者の事業活動をサポートして、ビジネス機会の創造の場とする。	倉吉駅北側エリア (倉吉市清谷) 12月末開設予定
けんこう (株)アート建工 (建築業)	地域に開かれた「ラボ」となる拠点として、地域と地域内外の利用者・企業が一体となって魅力的なコンテンツ開発を行うなど、地域課題の解決に取り組む場とする。	境港市役所近隣 (境港市上道町) 1月末開設予定

(参考) 県のほか、鳥取市もワークプレイスの整備を進めており、1施設の整備を予定している。

施設名: SAND BOX TOTTORI (サンドボックス鳥取) 場所: 鳥取市浜坂(鳥取砂丘西側)

第10回北東アジア産業技術フォーラムの開催結果について

令和3年12月1日
産業未来創造課

北東アジア地域における産業技術分野の交流を促進するため、韓国・江原道、中国・吉林省、本県の行政関係者及び研究者が一堂に会し、各地域の産業振興施策と産業技術開発の研究成果等の発表を行う「第10回北東アジア産業技術フォーラム」が、韓国・江原道の主催により開催されました。

本フォーラムは、平成20年に韓国・江原道で第1回を開催して以降、各地域で持ち回り開催しています。今回は初のオンライン開催となりました。

1 日時 令和3年10月20日（水） 午後2時30分～5時（オンライン開催）

2 主催 韓国・江原道

3 プログラム

(1) 基調講演 各地域の産業・技術動向と施策等を紹介（江原道、吉林省、鳥取県）

(2) 研究発表 ポスト(アフター)コロナ時代を見据えた科学技術・産業構造のパラダイムシフトへの対応

<江原道> 「江原道のデジタルヘルスケア産業の状況」

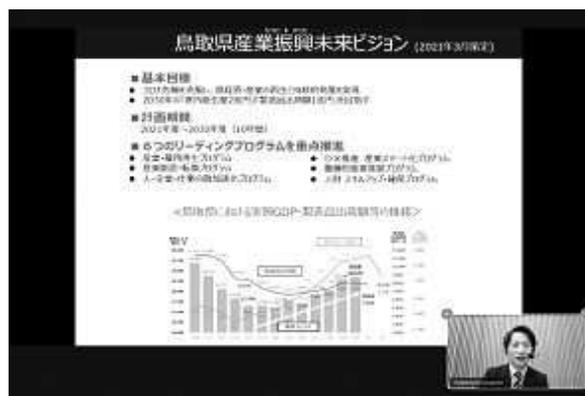
<吉林省> 「漢方薬による covid-19 の治療見解及び体験」

<鳥取県> 「光切断法を用いた非接触共振箇所特定技術」

(発表者) 地方独立行政法人鳥取県産業技術センター 電子・有機素材研究所
電子システムグループ 上席研究員 吉田 大一郎



<鳥取県団の記念写真撮影(江原道特設会場より)>



<オンライン講演の様子(鳥取県庁より)>

4 開催結果

研究発表では「ポスト(アフター)コロナ時代を見据えた科学技術及び産業構造のパラダイムシフトへの対応」をテーマに3地域の研究者がオンライン上で登壇した。研究者間の対面による交流は叶わなかったが、フォーラム終了時に来年度は現地(吉林省)での開催を約束するなど、今後の産業技術開発に係る地域間連携・共同研究推進に向けた機運醸成を図ることができた。

【参考】北東アジア産業技術フォーラム開催経緯について

平成18年の北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットにおける「先端科学技術交流が必要」という合意に基づき、韓国・江原道から、日本、中国の3カ国による産業技術に関する交流の提案がなされ、平成20年10月、韓国・江原道で開催された第1回北東アジア産業技術フォーラムにおいて、鳥取県、江原道及び吉林省相互間の産業技術発展に寄与できる共同研究開発活動の協力と機会の増進を目指した『産業技術交流協力協定書』を鳥取県商工労働部長、江原道産業経済局長、吉林省科学技術庁長の3者により締結した。

この協定書に基づき、3地域での持ち回り開催を行っている。

次回(第11回)は中国・吉林省での開催を予定している。

とっとりバイオフロンティア開設10周年記念式典・シンポジウムの開催結果について

令和3年12月1日
産業未来創造課

平成23年に鳥取大学医学部キャンパス内に設置した本県のバイオ産業創出拠点「とっとりバイオフロンティア」が、開設10周年を迎えることから、今日までの10年間を振り返るとともに、次の10年間への決意を新たにする「とっとりバイオフロンティア開設10周年記念式典・シンポジウム」を開催しました。

- 1 日時 令和3年10月24日（日） 午後2時～3時40分
- 2 会場 ANAクラウンプラザホテル米子 飛鳥の間（米子市久米町）
- 3 主催 とっとりバイオフロンティア開設10周年記念事業実行委員会（鳥取県、米子市、鳥取大学）、一般財団法人自治総合センター

4 プログラム

- (1) 記念式典
主催者挨拶 鳥取県商工労働部長 池田 一彦
祝辞 鳥取大学 学長 中島 廣光 氏
米子市 市長 伊木 隆司 氏
感謝状贈呈 受贈者 鳥取大学医学部名誉教授 押村 光雄 氏
発表 「とっとりバイオフロンティア10年の歩み」
鳥取大学医学部名誉教授 押村 光雄 氏
- (2) シンポジウム
記念講演 「再生医療に期待すること、あるべき姿」（※オンライン）
京都大学ウイルス・再生医科学研究所教授、iPS細胞研究所副所長
戸口田 淳也 氏（米子市出身）
パネルディスカッション テーマ「とっとりがいなバイオドリーム」
進行役： 鳥取大学医学部名誉教授 押村 光雄 氏
パネラー： 京都大学ウイルス・再生医科学研究所教授 戸口田 淳也 氏
鳥取大学医学部長 中村 廣繁 氏
米子商工会議所会頭 坂口 平兵衛 氏
米子工業高等専門学校医工連携研究センター長 松本 正己 氏
米子東高等学校2年 福嶋 優太 氏
米子東高等学校2年 井木 絢香 氏



※記念講演：戸口田 教授（オンライン）



※パネルディスカッション：発言する米子東校生

- 5 参加者 計 136名（内訳：会場 38名、YouTubeライブ 98名）

6 開催結果

「とっとりバイオフロンティア」には現在5団体が入居しており、うちバイオ系ベンチャー企業3社では、バイオ医薬品創出等に向けた技術開発等が進められている。本シンポジウムでは、過去に入居していた企業等の活動も含め10年間の成果を再確認するとともに、YouTubeを通じ発信することができた。

パネルディスカッションでは、医療・バイオ系を志望する米子東高等学校生徒2名が参加し、それぞれの夢を発表するとともに、押村鳥取大学名誉教授、中村鳥取大学医学部長等のアドバイスを直接受ける機会となった。創薬研究等には人材の育成が重要であり、若年層へのバイオ技術等の普及活動の必要性を認識することができた。

【参考】「とっとりバイオフロンティア」の概要

鳥取大学発の染色体工学技術を活かして本県に新たな「産業」を創出するため、平成23年4月、バイオ技術に関する人材・情報・技術の集積拠点として「とっとりバイオフロンティア」を開設した。

入居企業の支援を通じて染色体工学技術の事業化に取り組み、とりわけ「人工染色体ベクター」により様々な遺伝子を細胞内に運ぶ技術は高く評価されている。

平成30年には隣接地に鳥取大学「とっとり創薬実証センター」が開設され、バイオ医薬品研究も進みつつある。

とっとり宇宙産業ネットワーク設立記念フォーラムの開催結果について

令和3年12月1日
産業未来創造課

国内外で宇宙産業が大きく成長することが見込まれる中、本県産業の成長軸の一つとして「鳥取県に宇宙産業を創出する」チャレンジを進めています。

このたび、宇宙産業に取り組む、又は宇宙産業に関心のある県内企業等を中心に「とっとり宇宙産業ネットワーク」を設立することとし、NASAアジア代表を本県にお迎えして記念フォーラムを開催しました。



ガーヴィー・マッキントッシュ氏

- 1 日時 令和3年11月21日(日) 午後1時30分～4時
- 2 会場 とりぎん文化会館 小ホール (鳥取市尚徳町)
- 3 プログラム

(1) 主催者挨拶 鳥取県副知事 亀井 一賀

(2) 基調講演

講師：米航空宇宙局(NASA)アジア代表 ガーヴィー・マッキントッシュ(Garvey McIntosh)氏

演題：「拡大を続ける宇宙産業のこれから」

(3) 鳥取県の「宇宙産業創出のアイデア募集」結果報告、「とっとり宇宙産業ネットワーク」の説明

(4) トークセッション 「連携で動き出す鳥取の宇宙産業」

(株) amulapo 代表取締役

田中 克明 氏

(株)スペースシフト 代表取締役CEO

金本 成生 氏

MASUYAMA-MFG(株) 代表取締役

益山 明子 氏

(株)タグチ工業 代表取締役会長

田口 裕一 氏

米子工業高等専門学校 准教授

徳光 政弘 氏

米航空宇宙局(NASA)アジア代表

ガーヴィー・マッキントッシュ氏

鳥取県商工労働部経済産業振興監

遠藤 俊樹

【モデレーター】

JAXA宇宙科学研究所 准教授 / (株)レヴィ システムデザイン研究所 所長 三浦 政司 氏

(5) 「とっとり宇宙産業ネットワーク設立宣言」(フォトセッション)



4 参加者 計 321名 (内訳：会場 106名、YouTubeライブ 215名)

5 開催結果

宇宙関連産業の推進組織として、27団体(県内23団体、県外4団体)の参加を得て「とっとり宇宙産業ネットワーク」を設立することができた。新たな参加希望も受けており、引き続き参加者を募りながら、宇宙関連産業を本県産業の成長軸の一つに位置付け、情報共有、ネットワーク(繋がる)、連携プロジェクトの検討・実施等の取組を進めていく。

当日は多くの高校生が参加し、若年層の関心を高めることができた。また米航空宇宙局(NASA)アジア代表のガーヴィー氏は、上記フォーラムの翌日、県内の学校2校(青翔開智中学校・高校、鳥取城北高校)を訪問して講演を行うなど、関連人材のすそ野を広げる契機とすることができた。

【参考】「とっとり宇宙産業ネットワーク」

○体制：産学官のメンバーによるフラットな会員組織。運営事務局は鳥取県が担う。

○入会資格：宇宙関連事業に取り組んでいる、又は関心のある企業・団体・研究機関・行政・学校等の組織等

※ 会費無料。※ 企業等の所在地は県内外を問わない。

○県の支援内容：機運醸成(フォーラム)、繋がる機会の提供(情報交換・交流会)、学ぶ場の提供(連続講座)、連携プロジェクト支援(補助制度)、関係機関との調整(実証実験の場)等

企業在職者向け共通講座に係る受講者受付完了メールからの個人情報の流失について

令和3年12月1日
雇用人材局産業人材課

県がポリテクセンターと連携して実施している「共通講座：センサを活用したIoTアプリケーション開発技術」（以下「共通講座」という。）に係る参加者の受付完了メールを参加者が所属する企業のほか、誤って別の企業の担当者に当課職員が送信したことから、下記のとおり個人情報が流失する事案が発生しました。

事案判明後は、直ちに、参加者が所属する企業及びメールを誤って送信した企業に対して、今回の経緯の説明と謝罪を行いました。

今後は、同様の事案が起きないように再発防止策を講じて、個人情報の適切な管理に努めていきます。

1 判明した日時

令和3年10月14日（木） 午後4時頃

2 判明した経緯

- ・10月14日（木）午前11時、「共通講座」受講申込受付完了メールを誤って別の企業の担当者に送信した。
- ・同日正午過ぎ、宛先を誤ってメールした企業から当課のメールボックスにおいて誤送信である旨の指摘のメールを受信した。
- ・同日午後4時過ぎ、当課職員が誤送信指摘のメールに気づき、個人情報の流失が発覚した。

3 発生原因

ダブルチェックの怠りによるメールの宛先の確認漏れ

4 流失した情報等

- ・受講企業の担当者の社内メールアドレス（2名分）及び受講者3人の氏名
- ・誤送信先企業の担当者の社内メールアドレス（1名分）

5 具体的な被害報告

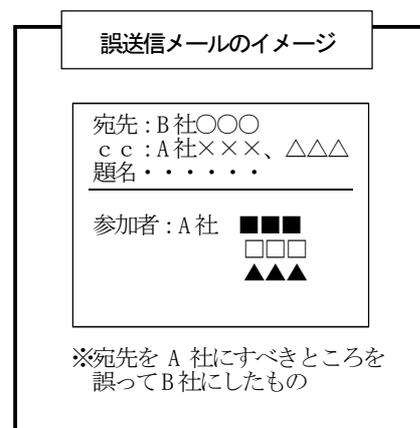
なし（11月19日（金）時点）

6 対応状況

事案判明後は、直ちに、参加者が所属する企業及びメールを誤って送信した企業に対して、今回の経緯の説明と謝罪とともにメールの削除を依頼し削除を確認した。

7 再発防止策

- ・メールの送信にあたり、複数の職員で確認するなど個人情報の適切な管理を徹底する。
- ・「とっとり電子申請サービス」を活用し、企業からの共通講座の受講申込及び受講受付完了のメールを自動で行えるようにした。（12月6日開始予定）



職業能力開発総合大学校との連携による取組について

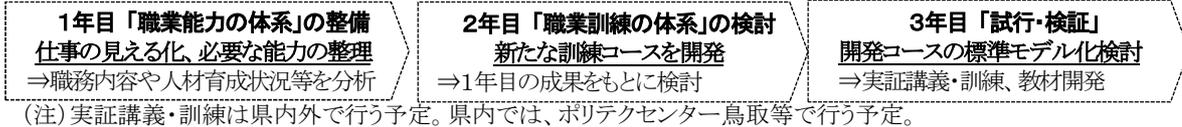
令和3年12月1日

雇用人材局産業人材課

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 職業能力開発総合大学校（以下「職業大」）と連携して進める成長分野の職業能力開発体系の整備について、今年度から新たに開始した医療機器分野に係る検討状況について報告します。

1 これまでの取組について

○平成30年4月に鳥取市のポリテクセンター内に移転した職業大高度訓練開発室は、医療機器分野について、県及び県内企業と連携して職業能力開発体系の整備及び教材開発に令和3年度から5年度までの3年間で取り組むこととし、県内企業や関係機関で構成する「調査研究委員会」や企業ヒアリングを行い検討することとしている。



○6月22日に調査研究第1回委員会が開催され、職業能力の体系の整理に向けて医療機器分野に必要な職務内容等について意見交換を行い、製造部門に関しては企業が保有する自社技術に合わせて整備済の職業能力の体系を活用できることから、医療機器特有の部分に着目し、企画・設計開発や安全管理等の職務能力について、内部委員で職業能力体系の素案（「業務の流れ図」、「職務構成表」、「職務分析表」等）を検討することとなった。

2 医療機器分野の令和3年度職業能力開発体系の整備に関する調査研究第2回委員会について

- (1) 開催日 10月21日（木） 13:00～16:00
- (2) 開催場所 鳥取職業能力開発促進センター（ポリテクセンター鳥取）
- (3) 主催 職業大高度訓練開発室
- (4) 目的 医療用機械器具製造業における「職業能力開発体系」の整備及び職業訓練に係る教材開発
- (5) 構成

○外部委員：以下の企業（7名） ※県内企業は、県と職業大とが共同して就任を依頼した。

名称	所在地	主な製品等
イナバゴム(株)	鳥取市	精密ゴム成形、感圧誘導センサー等
(株)日本マイクロシステム	米子市	電子・電気機器及び情報機器の設計・製造・販売等
(株)モリタ製作所	倉吉市	歯科・医療機器器具の製造・販売
(有)山本精機	岩美町	ステンレス製品・精密加工、分析機器等
(公財)鳥取県産業振興機構	鳥取市	県内産業支援機関
協和ファインテック(株)	岡山県	産業機器、医療機器の製造
アトムメディカル(株)	東京都	医療機器(産婦人科用、呼吸療法用機器等)の製造・販売

*協和ファインテック(株)及びアトムメディカル(株)は、第2回委員会から参加した。

○内部委員：(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構の職員（全国各地で勤務する指導員等8名）

○事務局：職業大基盤整備センターの職員

○オブザーバ：鳥取県職員、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構職員（本部職員）

(6) 委員会の概要

第1回委員会での外部委員からの意見を踏まえて作成した職業能力体系の素案（内部委員が作成）の業務内容とそれに伴う職業能力について、外部委員に再確認・意見交換を行った。

〈主な確認内容〉 品質管理（例：不具合発生時における製品や原因の特定に必要な作業要素）

安全管理・サービス（例：市販後の安全管理体制と業務遂行に必要な作業要素）等

（県内参加企業の声）

・自社の医療機器の製造販売における全体像を知る機会となり勉強になったとの意見もあった。

3 今後について

第3回委員会（令和3年12月16日開催予定）において、職業能力の体系の修正案の確認・意見交換を経て、年度内に職業能力の体系の最終案をとりまとめ、次年度の訓練コース及びカリキュラム開発の検討へと繋げていく。

伝統産業（民芸品、地酒、因州和紙）のオンライン展示会等の開催について

令和3年12月1日
販路拡大・輸出促進課

コロナ禍の継続により売りに上げに大きな影響の出ている民芸品及び県産日本酒の販路開拓のため、昨年度に引き続きインターネット上の展開を中心とした展示会等を開催しています。

また、特に手漉き書道用紙中心に需要減が長期化している因州和紙については、アフターコロナを睨んだ販路開拓の端緒として東京（とっとり・おかやま新橋館）での展示会を開催します。

1 とっどりの民芸オンラインギャラリー

(1) 「鳥取たくみ工芸店」（鳥取市、期間:12/9(木)～3/14(月) [予定]

コロナ禍で特に大きな影響を受けている郷土玩具、弓浜絣や認知度の低い品目に焦点を当て、動画も活用したコンテンツにより紹介する。

- 【出品】・染織：工房ゆみはま、村穂久美雄氏、型染くじら
・郷土玩具：おぐら屋、信夫工芸
・木工：鳥取民芸木工、朝倉康登氏
・陶磁器：山根窯、延興寺窯、国造焼
・その他：鹿野菅笠、岸田靴下等



染織（村穂久美雄氏）

(2) 「ココロストア」（倉吉市、期間:11/27(土)～3/14(月) [予定]

コロナ禍で大きな影響を受けている郷土玩具や手漉き和紙に焦点を当て、コラボ新商品や復刻版を展開する。

- 【出品】・郷土玩具：YANAGIYA REPRODUCE、おぐら屋、倉吉はこた人形工房等
・因州和紙：かみんぐさじ、長谷川憲人製紙 他
・染織：服部真知子、NPO法人おりもんや
・陶磁器：福光焼、国造焼、浦富焼
・鍛冶：大塚刃物鍛冶（包丁）他



郷土玩具(YANAGIYA REPRODUCE)

(3) 「今井書店 SHIMATORI」（米子市、期間：11/3(水)～1/16(日) [予定]

オンライン展示販売に加え、コラボ新商品（因州和紙レターセット・ポチ袋等）やオンラインワークショップを実施する。

- 【出品】・陶器：大山焼久古窯、延興寺窯、山根窯、国造焼、福光焼等
・郷土玩具：おぐら屋、信夫工芸店
・木工：白谷工房、あすなる手芸店
・因州和紙：かみんぐさじ 他



2 オンライン酒セミナー「とっどりの純米酒で乾杯！“第1回 久米桜酒造編”」

蔵元（県内酒造会社）と唎酒師（酒店）が語り手となり、本県の地酒の魅力を発信するオンラインでのライブイベントを実施する。

- ・開催日：11月27日(土) 午後6時～7時
- ・語り手：谷本酒店店主 唎酒師 谷本暢正さん
久米桜酒造 杜氏 三輪智成さん
- ・参加者：約60名（参加費：3,500円）

※参加者には、久米桜酒造の酒5本（300ml×4種類）と特製おちょこ（浦富焼）1個を事前に送付

※開催予定：第2回（1/29(土) 梅津酒造編）、第3回（3/5(土) 千代むすび酒造編）



3 因州和紙展「ART × InshuWASHI」（東京）

- ・期間：12月3日(金)～5日(日)
- ・場所：とっとり・おかやま新橋館 2階（東京都港区新橋）
- ・概要：大都市圏のアート関係者（アーティスト、美大生、写真家、デザイン事務所等）に対して因州和紙の活用を促進することにより、因州和紙のブランド化と新たな需要・販路の開拓を図る。

